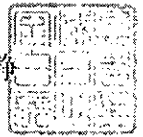


白 建 第 7 8 8 号

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

宮城県白石市長 風 間 康 静



今後の道路行政について意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼があった標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

担当：白石市建設部建設課 土田

電話：0224-22-1326（直通）

FAX：0224-22-1328

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮城県白石市

・東北地方の地域特性である整備率の低さ、車依存度の高さ、雪等の冬季間の影響、集落間距離の長さ等を従来の費用対効果の算定のに加えて評価し、道路整備をはかる。

・JR駅、新幹線駅、高速道路インターチェンジ、港、空港等既存施設へのアクセス道路の整備を行い、公共交通の利用拡大による環境負荷の軽減、時間の短縮をはかる。

・災害等の有事に緊急輸送確保のため、東北地方の大動脈であり、緊急輸送道路(1次)でもある国道4号の全線4車線化と、代替え路線の整備をはかる。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1地域の現状と抱える課題

様式②

宮城県白石市

○現状

・市域が広く集落が点在しており、集落間の距離が長い。小集落であり公共交通についても無い状況であり、自動車が交通の要である。

・市境は県境となっており、東北縦貫道、国道4号、東北新幹線、東北本線が一箇所に集中している。

・国道4号と縦貫自動車道が平行して走っていることから、降雪・事故等により縦貫自動車道が通行止めとなった場合に国道4号に車が集中し、渋滞となる。

○課題

・医療、介護、市民サービスを行うには集落を結ぶ道路の整備が必要である。また集落内の狭隘な市道の整備を行うことが緊急の課題である。

・災害等の有事の時に陸路交通が遮断され福島県以北の東北地方へ人・物の緊急輸送が出来ない状況になる。代替え路線の確保と共に国道4号の4車線化が緊急の課題である。

・降雪等による渋滞に対して対処が必要である。このことから、代替え路線の確保と共に国道4号の4車線化が緊急の課題である。

・県境については整備が遅れているので整備の促進を計る必要がある。

◎安全安心なまちづくりの施策の中に、防犯・防災対策、都市基盤の整備等が位置付けており、以下の道路整備によるまちづくりを行う。

- ・橋梁の耐震化をおこなうと共に集落を結ぶ道路(国道、県道、市道)の複数路線の確保を行い災害に強いまちづくりを行う。
- ・集落内の消防自動車、救急車の通行出来ない狭隘な道路の解消をはかり安心して暮らせるまちづくりを行う。
- ・医療施設、介護施設等へのアクセス道路の整備により市民の生命を守るまちづくりを行う。
- ・東北新幹線駅、東北本線駅へのアクセス道路の整備により観光の振興(交流人口の増)と環境負荷の減少をはかる。
- ・東北縦貫道のインターチェンジを活用した企業誘致を行い、雇用の確保等を行う。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

宮城県白石市

○重点事項 自然環境と共生する都市の創造	○代表事例 公共的交通機関への転換に伴う道路整備。	○期待する効果や評価等 高齢社会に対応する、交通網の確保と公共的交通機関へのアクセス道路の整備を計ることにより環境負荷の軽減を促進する。	○その他
防災体制の強化	橋梁の耐震化と複数のアクセス道路の整備。	災害時における初動体制を確立し、災害の防止と市民の安全を確保する。また災害による孤立集落の防止をはかる。	
都市間交通網の整備	東北縦貫自動車道路、常磐自動車道等を連結強化し都市間を結ぶ。	高速道路どうしを連結する道路網の整備により工場誘致等の地域開発と交流人口増に寄与すると共に時間短縮による環境負荷の軽減をはかる。	
都市内交通網の整備	都市内交通は市街地の狭隘道路、渋滞道路の解消を推進する。	集落間を連絡する道路整備を推進すると共に集落内の狭隘道路の解消の促進により安心安全な市民生活の確保をはかる。	
交通安全対策の充実	交通安全施設の整備	交通事故の多発している道路や、安全確保のため地域住民との協働による点検や現況を把握し、交通安全施設の整備を進め、事故を減らす。	